

(社) 日本小児保健協会 全国理事・支部長会 議事録

日時：平成 20 年 9 月 25 日 (木)

時間：15：00～16：00

場所：札幌コンベンションセンター

出席者：加藤達夫・田中義人（副会長）・有賀正・高橋明雄・五十嵐隆・加藤忠明・小
板橋靖・高橋孝雄・平岩幹男・福永慶隆・春木伸一・大西文子・山崎嘉久・大
藪恵一・竹内義博・津田紀彦・布井博幸・松石豊次郎（理事）・山口規容子（監
事） 他 各支部長 35 名
理事 25 名中 19 名出席 理事会は成立した。

議長：加藤 達夫 副会長

議事録署名人：有賀 正・竹内 義博 先生が推薦され承認された。

1. 平成 20 年度人事・事業報告

(1) 会員数

	平成 19 年 3 月 31 日	平成 20 年 3 月 31 日	平成 20 年 8 月 31 日現在
会 員	5,326 名	4,962 名	4,714 名
	正会員 4,988 名 (内 入会数 334 名)	正会員 4,633 名 (内 入会数 380 名)	正会員 4,393 名 (内 入会数 241 名)
	団 体 338 団体	団 体 329 団体	団 体 321 団体
賛助会員	16 社	16 社	16 社

(2) 支部長交代

(支部)	(旧)	(新)
北海道	藤枝 憲二	有賀 正
栃 木	白石 裕比湖	杉田 憲一
石 川	佐藤 保	小泉 晶一
兵 庫	中村 肇	高田 哲
熊 本	三池 輝久	木村 重美 (代行)
大 阪	西田 勝	岡本 伸彦

(3) 役員会等の開催

全国理事会 2 回、支部長会 2 回、常任理事会 3 回、代議員会 1 回、編集委員会 4 回、
予防接種・感染症委員会 1 回、発育委員会 1 回、小児救急の社会的サポートに関する

委員会 1 回、学校保健委員会 1 回、栄養委員会 1 回、小児医療委員会（チャイルドシート検討委員会 1 回・事故予防委員会 1 回）、乳幼児健診システム委員会 3 回、平成 22 年度幼児健康度調査委員会 1 回、健やか親子 21 協議会第 4 課題 1 回を開催し本協会の事業遂行上必要な案件を協議、決定し運営している。

(4) 平成 20 年度春季総会

平成 20 年 4 月 25 日（金）、東京国際フォーラムにおいて開催し、社員総数 190 名、出席社員総数 184 名内委任状 134 名、社員の過半数以上に達したことを確認した上、議長に土屋正己氏を選出し、議事録署名人に飛田正俊（東京都）・村上睦美（東京都）両氏を指名し開催し下記の議案が承認された。

- 1)平成 19 年度事業報告
- 2)平成 19 年度収支決算および監査報告

(5) 日本小児保健学会の開催（福永理事）

第 55 回日本小児保健学会を開催。

会頭：堤 裕幸 教授（札幌医科大学医学部小児科学教室）

日時：平成 20 年 9 月 25 日（木）～27 日（土）

会場：札幌コンベンションセンター（北海道札幌市）

テーマ：「家族、学校、社会の絆を太くする」

(6) 機関誌等の刊行（小板橋理事）

- ・「小児保健研究」現在 67 巻 4 号まで発刊した。
- ・「小児保健シリーズ」“N o.62 思春期の子育て支援～小児科の新たな課題～”を刊行した。

(7) 講演会等の開催（高橋理事）

- ・母子保健指導研修会を含む研究会・後援会等を開催中（支部と共同）。
- ・判定技術養成講習会(DENVER IIーデンバー発達判定法ー)を 3 回開催した。

(8) 小児保健セミナーの開催（高橋理事）

- 1)第 25 回小児保健セミナー「思春期の子育て支援～小児科の新たな課題～」

平成 20 年 6 月 15 日（日）に有山 登記念講堂に於いて開催した。

参加者数は約 80 名であった。

- 2)「小児保健セミナー in 沖縄」を平成 21 年 1 月 25 日（日）沖縄小児保健センターに於いて社団法人 沖縄県小児保健協会と共催し開催する。

(9) 協会活動 (大西理事)

1)編集委員会、予防接種・感染症委員会、発育委員会、小児救急の社会的サポートに関する委員会、学校保健委員会、栄養委員会、小児医療委員会(チャイルドシート検討委員会・事故予防委員会)、乳幼児健診システム委員会、平成22年度幼児健康度調査委員会、健やか親子21協議会第4課題のそれぞれが本協会の目的のために活動している。

2)中国大地震、ミャンマー・サイクロン災害、岩手・宮城内陸地震へ義援金を拠出した。

3)第18回日本小児看護学会学術集会ランチョンパフォーマンスセミナー(平成20年7月27日(日):名古屋国際会議場)において、「子どもの事故防止:チャイルドシートと看護師の役割」をテーマとしチャイルドシート啓発活動を行った。

(10) その他 (福永理事)

日本小児科学会・日本小児科医会(日本小児科連絡協議会)との合同で、日本小児科連絡協議会(三者協)の活動している。それぞれの会議の議題を報告し合い、日本小児保健協会としてはチャイルドシートに関して検討している。

2. 平成21年度事業計画案 (福永理事)

(1) 日本小児保健学会開催

第56回日本小児保健学会は、大阪大学大学院医学系研究科情報統合医学講座小児科学 大菌恵一教授を会頭として、平成21年10月29日(木)・30日(金)・31日(土)の3日間。大阪国際会議場(大阪)に於いて開催する。

テーマ:「すくすく育て、こころとからだ」

(2)「小児保健研究」を年内に6冊刊行する。また、小児保健シリーズを1冊以上刊行し、支部活動等に役立てる。

(3) 講演会等の開催

支部と共同して、母子保健指導研究会を含む研究会・講演会等を開催する。

(4) 教育普及の拡充

協会の事業として教育普及の拡充につとめる。

第26回小児保健セミナーは、平成21年6月21日(日)に開催する。

テーマ「保育所保健のテーマ(案)」、会場「未定」。

(5) 協会活動の充実

小児保健協会活動助成(研究助成・実践活動助成)の授賞者の決定および表彰を行う。
本協会の目的に役立つ事業の実施につとめる。

3. 平成 21 年度収支予算案

財務担当 五十嵐 隆理事より平成 21 年度収支予算案が別紙の如く提案され、承認された。

4. 小児保健奨励賞について (大西理事)

平成 20 年度小児保健協会活動助成が下記の通り決定した。

《研究助成》

重松 美智子・他(神奈川県厚木保健福祉事務所)

「医療機器等装置児の支援体制づくりについて(第 1 報・第 2 報)」

《実践活動助成》

水野 宏子(山形県小児保健協会)

「鶴岡市すこやかな子どもを生ま育てるネットワーク推進委員会」

5. 平成 20 年度名誉会員の推薦 (福永理事)

北海道 : 奥野 晃正

群 馬 : 竹内 政夫

東 京 : 高野 陽

神奈川 : 松山 秀介

大 阪 : 西田 勝

6. 日本小児保健学会会頭について (福永理事)

第 57 回(平成 22 年)日本小児保健学会会頭

新潟大学医学部小児科 教授 内山 聖

日時:平成 22 年 9 月 16 日(木)~18 日(土)

会場:朱鷺メッセ 予定

内山会頭の代理で浅見先生より開催計画が報告、承認された。

7. 支部活動 (大西理事)

1)全国 47 支部が活動を続けている。また、各地においての小児保健研究会、母子保健指導研修会の共催・後援、「こどもの健康週間」(日本小児科学会主催)の後援およ

び参加をはじめとし、各種関連事業を後援している。

2)平成 19 年度支部活動報告（小児保健研究第 67 巻 4 号 P.673-690 に掲載）

3)平成 20 年度活動状況報告

・実践活動に関して、各支部長に推薦を要請した。

8. その他

1) 日本小児科学会・日本小児科医会（日本小児科連絡協議会）との合同で、日本小児科連絡協議会 3 回、合同委員会：「子どもをタバコの害から守る」合同委員会 1 回、自動車乗車中の子どもの安全推進合同委員会 3 回、子どもとメディア委員会 2 回、予防接種・感染症委員会 2 回開催し、目的に沿った活動を行っている。

2)自動車乗車中の子どもの安全推進合同委員会に関してのリーフレットを次回発送する小児保健研究と一緒に同封したいと委員長の服部 益治先生からの要望があり、承認された。

3) 新公益法人移行準備等について平岩 幹男 理事よりお話があった。

4)小田 慈先生より特定非営利活動法人 ファミリーハウスの活動紹介があり、日本小児保健協会の後援とすることが承認された。

平成 20 年 9 月 25 日

社団法人 社団法人日本小児保健協会

議 長 加藤 達夫 ⑩

議事録署名人 有賀 正 ⑩

議事録署名人 竹内 義博 ⑩